



闘う労働組合の 再生をめざす

国鉄闘争 全国運動 7・26 全国集会

7月26日(日) 午後1時30分開始 (開場 1時)
江戸川区総合文化センター大ホール



民営化・外注化が社会を破壊した！ 国鉄1047名解雇撤回！

駅ナカはデパートのようにきらびやか。民営化のすばらしい成功？でもその裏側で、駅も、車両検査も、線路や電気関係の保守も、何もかもが外注化され、そこで働く労働者は下請会社につき落とされています。

JRは、コロナ非常事態宣言の渦中、車両や駅の消毒一つやっけていませんでした。清掃部門で働くのは法定最低賃金レベルの非正規職の仲間たちです。当然いつもギリギリの要員体制。できなかつたのです。

6月以降ガイドラインが定めら

れ、車両の消毒をやらざるを得なくなっても、下請労働者に無理強いです。見せかけだけ何本かの列車を消毒しろというのです。

JR北海道、九州、四国がコロナで経営破たんしました。事実上倒産状態です。1987年に国鉄が民営化される過程でも、北海道・九州は半分以上の線路が赤字を理由に剥がされました。そして今、`鉄道崩壊、`地域社会の総崩れ、が始まろうとしています。鉄道をカネ儲けの道具にし

たからです。

首切り、労組破壊、非正規化

国鉄の民営化は、戦後最大の首切り攻撃であり、労働組合破壊の攻撃でした。民営化までの6年間に20万人の国鉄労働者が職場を追われ、25万人を組織していた国労は4万人まで切り崩されて、日本の労働運動は瓦解していきました。そして、2千万人を超す非正規職労働者が生み出されたのです。

国鉄民営化は、憲法改悪をはじめとした政治反動を解き放つ攻撃でもありました。

私たちは、解雇撤回、外注化・非正規職化阻止を掲げ、民営化攻撃と闘い続けてきました。社会的に絶対不可欠な労働者とその仕事とがどれほど軽んじられてきたのか。

今こそ、30有余年に及ぶ反労働者的政策の是非を問うときです。この旗の下にぜひ結集を！ ともに闘おう！

国鉄闘争の 火を消すな 国鉄闘争全国運動とは

国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国的な運動体。2010年の政治和解に反対し、「国鉄闘争の火を消すな」と訴えてスタート。動労千葉争議団、和解を拒否した当時の国労組合員も合流した。

「新自由主義の対抗軸となる新しい労働運動をつくりあげてことを展望」(運動要綱)し、毎年6月の全国集会のほか、解雇撤回・JR復帰を求める署名運動や裁判闘争支援などに取り組んできた。

2015年6月、動労千葉の裁判で、国鉄分割・民営化において不当労働行為による採用差別があったことをついに最高裁に認めさせた。

440公立病院をつぶすな 都立病院民営化絶対反対

ベッド削減を予算化

にわかには信じがたいことが起きています。安倍政権は、医療崩壊の危機が叫ばれる最中の3月、全国440の公立・公的病院を統廃合し、2025年までに20万床を削減する構想を具体化するために200億円以上の予算を計上したのです。

同じ3月31日、小池東京都知事は、2022年度中に都立8病院と都保険公社6病院を民営化（独立行政法人化）することを決定しました。

新型コロナなどの感染症に対応できる病院は全国に475病院しかなく、その8割が公立病院です。それなのに感染症や災害時などの行政的医療に携わる数少ない拠点病院をつぶしてしまおうとしているのです。

病院をつぶすな！

一体なぜこんなことが？「日本の医療は世界最高レベル」と思いこまれてきたその裏でとんでもないことが起きているのです。

1996年に9716床あった感染症病床は2018年には1882床まで激減し、1993年に848か所あった保健所は2020年には469か所に削減されました。人

口10万人あたりのICU（集中治療室）数は、わずか7.3床でアメリカの5分の1。先進国の中では最低レベルです。病院数全体も約2割減りました。

病院を「競争原理、という熱湯の中に放り込んだ結果です。ひたすら利益をあげることに特化された医療体制は、感染症に対応する余地を失っていき、PCR検査一つまでもできない現実を生み出したのです。

新自由主義という疫病

もう一つの疫病、新自由主義という疫病が社会にはびこっています。この国の政治は、すべてを粉砕して進む戦車のように社会を破壊しました。雇用、社会保障制度、介護や保育、教育、地方と地方自治、そして労働組合、社会生活の全分野を破壊し、絶望的な格差と貧困を生み出したのです。

「民営化すればすべてうまくいく」は真っ赤ウソでした。持続化給付金をめぐる政権と電通の癒着、利益をしゃぶり尽くし



てすべてを無権利・非正規の下請け労働者に次々に丸投げしていく構造。

「民営化」は言葉のごまかしで、Privatizationの本当の意味は「私有化」「私物化」です。社会も政治も、ひと握りの資本家・政治家が私物化していく。こうして社会が蝕まれていったのです。

声を！ 声を！ 声を！

もう沢山だ！ 公立病院をつぶすな！ 都立病院の民営化を止めよう。病院を守れ！ 声を！ 声を！ 声を！

私たちがこう訴えるのは国鉄民営化を経験したからです。その恐ろしさを身をもって体験したからです。民営化と闘ってきたからです。生きる権利と同じように労組する権利をとりもどそう！